

ハード（建物、場所等）	ソフト（文化や風習等）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線駅 飯山駅がある。</li> <li>・30分圏内で行けるスキー場が多い。（戸狩・斑尾・ロマンス・牧の入・野沢・栄村等）</li> <li>・自然豊かで、アウトドアスポットが多い。</li> <li>・四季がはっきりしている</li> <li>・道の駅が市内に2つある</li> <li>・意外と北信地域でしか知られていない特産品がある（坂井芋、根曲竹、アスパラ、雪下にんじん、常盤ごぼう）</li> <li>・みんな大好きTSURUYAがある</li> <li>・地区ごとに活性化センター（公民館）が必ずあり、おそらく神社もほとんどの地区にある</li> <li>・長野県に2箇所しかない伝統産業会館がある</li> <li>・さびれてるけど、商店街や仏壇通りと呼ばれる道がある</li> <li>・人形作家で著名の高橋まゆみ人形館がある</li> <li>・昔から伝えられている方言がある。</li> <li>・東京まで1本で行き来できる飯山駅（新幹線）がある。</li> <li>・隈研吾さん設計のなちゅらがある。</li> <li>・市街地にジャンプ台がある。</li> <li>・近隣にスキー場が多い。</li> <li>・飯山仏壇</li> <li>・雁木通りの街並み</li> <li>・マウスコンピューター</li> <li>・雪むろ</li> <li>・遊休農地が沢山ある。</li> <li>・二拠点生活が可能</li> <li>・福島棚田、小菅</li> <li>・新幹線が止まる飯山駅</li> <li>・斑尾、戸狩、木島平、野沢温泉、各スキー場にアクセス良い</li> <li>・四季で美しく変わる山々や自然</li> <li>・棚田</li> <li>・「阿弥陀堂だより」のロケ地周辺の美しさ</li> <li>・小菅は北信濃の三大修験場</li> <li>・小菅神社（杉並木）と北竜湖（SUP）</li> <li>・森の家、山の家（希望湖、沼の原湿原）</li> <li>・まだまだ使える古民家が沢山ある</li> <li>・飯山高校のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）</li> <li>・寺の町としてお寺が多数ある。</li> <li>・中心市街地は徒歩で周遊できる。</li> <li>・北陸新幹線の停車駅があり、首都圏及び北陸圏とのアクセス性が高い</li> <li>・高速道路へのアクセスが良く、広域移動の起点となる立地</li> <li>・日本海側にも比較的近く、山と海の両方にアクセス可能な位置</li> <li>・野沢温泉、志賀高原、妙高高原、斑尾高原など周辺のリゾート観光地へのハブとなる立地</li> <li>・道の駅やMIZBEステーションなど、地域内の交流拠点の存在</li> <li>・菜の花公園がある。</li> <li>・新幹線の停まる駅</li> <li>・つい最近新設された城北小学校</li> <li>・いいやまだけではないが、TSURUYAは今ではそのために人が来るほど人気</li> <li>・鍋倉山、鍋倉高原エリア（バックカントリーの聖地）</li> <li>・戸狩、斑尾を含め周辺のスキー場へのアクセスのよさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が温かい。日本のふるさと。</li> <li>・野菜・米がおいしい</li> <li>・雪国らしい人柄の良さ（暖かさ）</li> <li>・お祭りが夏と秋にあり、冬は道祖神などずっと口伝で教え継がれている知恵や文化がある</li> <li>・夏には花火大会がある</li> <li>・お漬物はほとんどの家庭で大量に作られている（野沢菜、たくあん、きゅうりの佃煮など）保存の知恵がすごくある</li> <li>・自分の畑を持っている人がかなり多い</li> <li>・一人の人ができることが多く、多趣味（おそらく雪のせい？夏と冬で仕事を変えざるをえない）</li> <li>・伝統工芸品に指定されている工芸が3つもある</li> <li>・80代でも元気、ぴんぴん</li> <li>・初対面は全然話してくれませんが、ひとたび仲良くなると孫のようにかわいがって、世話してくれる</li> <li>・お茶受けには漬物が一般的など、この地域ならではの食文化（笹寿司、やしょうま、ボクチ蕎麦など）がある</li> <li>・クロスカントリースキー・笹寿司 ・いもなます ・灯籠祭り ・雪まつり</li> <li>・大型雪像 ・雪かき ・かまくら（雪） ・寺の数が多い ・バナナポート</li> <li>・サバ缶 ・かりんとう ・おやまぼくち ・内山和紙</li> <li>・食文化及び和菓子屋が多いこと。</li> <li>・ラーメンのレベル高い。</li> <li>地域に農業経験者・指導者がたくさんいる。</li> <li>周辺地域にウィンタースポーツの指導者がいる。</li> <li>周辺地域にオリンピックのメダリストがいる。</li> <li>伝統文化の継承 ・ブランド農産物</li> <li>・人と人とのつながり ・「雪」を資源と捉えた独自のイベント</li> <li>・地域コミュニティの結束</li> <li>・飯山仏壇、小沼等々の伝統技術がある。</li> <li>正直ないと思う。他の場所でも見られるものばかりですが、かならず特別さが必要というわけではない。この辺の水のクオリティーはとても高いので、お米も、日本酒も、そばもとてもおいしい。既によくできていることを支援すればいいと思う。</li> <li>・祭り（小菅、五束、奈良沢など）</li> <li>・かまくらの里</li> <li>・無農薬や有機栽培などで結果を出し活躍している農家さんがいる</li> <li>・地域の人同士の距離が近く、関係性が見えやすい一方で、外からの人にとっては入りづらさを感じる場面もある</li> <li>・地域コミュニティの結びつきが強く、結果として内向きに見える側面がある</li> <li>・一方で、一度地域の中に入ると非常に手厚く受け入れられる風土があり、周辺自治体からも「人が優しい」と評価されるなど、関係性の深さが大きな特徴となっている</li> <li>・また、移住者等からは地域の魅力が高く評価される一方で、地域の人自身がその価値を十分に認識できていない場面も見られ、地域に対する肯定感がやや低い傾向がある</li> <li>・こうした背景から、外からの評価と内側の認識との間にギャップが生じている可能性がある</li> <li>・歴史的には千曲川の舟運や峠を越える物流の拠点として、人や物が行き交う地域であったことから、本来は外とつながる素養を持った地域である</li> <li>・飯山地方の住民は県内でも最も穏やかで親切な人柄として昔から評判</li> <li>・高野辰之「ふるさと」「おぼろ月夜」</li> <li>・夏・秋のお祭りや道祖神などの各集落でのお祭り</li> <li>・里山・農村風景、農作業</li> <li>・のんびりとした雰囲気の中でのびのび育つ子供たち</li> </ul>

## 問い④ 飯山市の強み、弱みについて

### 強み:S 飯山市の優れている、得意なこと

・自然環境のよさ。特に雪。雪の恩恵を受けている地域。雪の下野菜の甘さ、おいしさ。雪降る地域の土壌の良さ。  
 ・人口密度がちょうどいい(100)・自然がほど近いけど、厳しすぎない・集落ごとに自治がしっかりしており、組織運営に長けている人が多い・やると決めたことは続ける人が多い・新幹線の駅は住む上ではかなりメリットがある・長野市がそんなに遠くなく、他地域へ出やすい・一年を通して天気が比較的良好・地域のために動ける人が多い・困ってる人を助ける親切さ・駐車場が広く、信号も少なく移動のストレスがあまりない

- ・新幹線が通っている
- ・東京から1本で来る事ができる(かなり強み)
- ・新幹線があり、首都圏及び北陸からのアクセスの良さ。
- ・山菜が豊富
- ・近隣を含めてスキー場が近い
- ・ウィンタースポーツに優れている
- ・ウィンタースポーツが盛ん
- ・現在はインバンド客が冬には駅をよく利用する
- ・自然が豊かで農業に適している
- ・アウトドアやウィンタースポーツに適している
- ・遊休農地がたくさんある。
- ・水、米、空気が美味しい。
- ・不便過ぎない田舎
- ・おすそ分け精神
- ・「雪の恵み」の農業
- ・自然環境が豊でありそれぞれの四季に応じた楽しみ方ができる。
- ・クオリティーが高い口カールプロダクトが多い(おみやげなど)
- ・豊かな自然環境、田園風景、里山風景、千曲川の眺望
- ・JR飯山線(乗り鉄、撮り鉄)

・農林高校など未来の作り手と協力し、無農薬や有機栽培などオーガニックビレッジの自治体に進める可能性がある  
 ・移民がまだ少ない、日本人が多い安心できる地域に住みたい人にとってはいい場所になる。

- ・住民の穏やかで親切な人柄は、昔から他地域から評判。
- ・新幹線駅や高速道ICがあること。
- ・パウダーな雪質でスキーやスノボができること。
- ・太田など盆地の底から少し上がった場所からの眺めがよい。
- ・コメや野菜が美味

新幹線駅があること、市内・周辺のスキー場へのアクセスがよく、冬季のインバウンドが好調。アクセスが良い割に自然環境にめぐまれ、登山やトレイル、スキー、カヤックなど、自然の中でアクティビティを楽しみやすい。

比較的すでに移住者も地域の中に溶け込んでいて、移住しやすい環境はある程度できていること  
 子供の数が少ないため、きめ細やかな境域環境がある。のんびりとした場所で子供のはのびのび育つ。子供の出す騒音などについてのストレスがない

- ・待機児童問題がない。

### 弱み:W 飯山市が劣っている、克服すること

・知名度が低い  
 ・PR下手・お金をもらう、払うのが苦手で、お互いの思いやりに基づいて無料にする曖昧さがある・自分たちがやっていることに価値があるとかあまり考えていない・人が減って難しくなっているのに、これまでどおり何とか続けようとして疲れている・新しいこと、知らないことへの抵抗感・個々の団体で活動して、なぜかあまり連携しない・『飯山』の知名度が低い・距離が近いせいか、関係性が悪い状態で長らく引きづっている・初対面にシャイ

- ・土着民が移住者に意地悪(一部)
- ・いいやまと言うと、神奈川県がいいやま温泉と間違われる
- ・新幹線が止まる割には観光地が少ない
- ・駅前に宿泊施設がない(少ない)
- ・駅前の商業施設がない(少ない)
- ・駅の中が充実していない(お土産屋など)
- ・飯山に新幹線が停まって嬉しいが、停まる意味を見出せていない。(このままだとそのうち停まる本数も減るのでは、)
- ・駅前にマンションがない。

移住者が地域に入りにくい。(Welcome感があまり感じられない)

- ・遊休農地がたくさんあるのに、農地法が厳し過ぎて活用されない。
- ・地域内人口の減少及び高齢化
- ・働く場所が少ない上に、起業に対しての前向き性が乏しい
- ・地域福祉が弱い(単に福祉サービスを提供するだけではない)
- ・ボランティア団体が少ない
- ・タクシー等の公共交通が不足している。
- ・市民の内向的で消極的。
- ・市民が飯山の魅力と価値に気づいていない。

行政の考え方が固定、リスクも取らない、新し提案も出さない、イノベーションもしない。  
 レストランが足りない、町の中心街がない(歩けるところ)。町の中、町回りに移動するのはかなり難しい(特に観光として)。

子供フレンドリーではない(ファシリティーが足りない、中に遊ばせるところも限られている)

コミュニケーション・情報共有の方法は時代遅れ(ウェブサイトが古臭いアップデートされてない、市報はあくまでも市民向けのみ)

宿泊施設がない。インバウンド需要はほかの地域にとられていると思う。

斑尾・野沢など周辺のスキー場に行くハブホテルとなりえる駅前ホテルがない。宿泊できないから商店街もさびれる。

- ・学びの場や機会が少ない
- ・冬期子どもの遊び場がない
- ・飯山市公民館など、どこか暗く古臭い雰囲気
- ・自家用車が不可欠
- ・産院まで遠すぎる
- ・ペット(犬)が思いっきり走れるドックランがない
- ・地域の魅力に対する自己認識(地域肯定感)がやや低く、外からの評価とのギャップがあること
- ・極端な少子化
- ・移住者に対する行政のフォローが乏しいとの批判あり。
- ・地域おこし協力隊員が市外に暮らすことに対して批判あり。
- ・マスコミとの連携による飯山市の良いところをPRする力が弱い。

病院、特に産科・小児科がないこと。日赤がきちんと機能しておらず、夜間、子供の救急はすべて北信総合病院へ回される。歯医者も市内にいいところがない

冬に比べてグリーンシーズンの観光が弱い。高原地帯ではないため夏は非常に暑く、アウトドアスポーツをやるにくい(信越トレイルなども真夏のハイクはおすすめしていない。鍋倉高原も真夏は暑い)

戸狩・斑尾共に、スキー場設備や周辺宿泊施設などの老朽化が激しく、営業数も減っている。衰退している印象が強く、夏季に訪れると地域の印象が悪い(戸狩の今後の変化に期待)

市全体で有機農業に対する関心が低く、直売所や道の駅で売られる農産物にオーガニックのものが少ない。今は環境や健康に配慮したオーガニックマルシェなどの人気・話題性が高い。

## 問い④ 飯山市にとっての機会、脅威

### 機会:O 飯山市にとって有利になる、チャンス

- ・北陸新幹線の停車駅がある。外国人の野沢温泉人気。
- ・野沢温泉の知名度でこのエリアに住みたい人や興味を持つ人などが増えている・会社勤めよりも、自分で何かやってみてみたい人が若い人に増えて、場所を探している（飯山市にはまだないモノ・コトが多いから新規参入しやすい）・高校生が実は飯山から離れたくない、入れるならずっとこの地域にいたいと言ってる（何か良さがあるはず）

- ・駅前にマンションができれば移住者も増えるのでは
- ・在宅ワークやテレワークが増えたので、飯山市に住みながら仕事をする方々を呼び込む事ができる。
- ・飯山在住者に新幹線通勤（通学）補助金を市が出せば、通学も通勤も飯山からでも通う人が増えるのではないかと（飯山を出なくてもいい）

- ・人と人とのつながりが強い
- ・下高井農林高校が通学圏であり、高校生との協働が可能

特別さがなく逆に可能性は限られていない。コロナからアウトドアのブームがあって、自然と繋がりたい方が多い。ヘルシーな環境に子供育てたい方もかなり増えた。  
→オルタナティブ教育（フリースクール、自然体験型）や有機農業など、飯山の自然を生かした新しい特色づくりの可能性がある。  
→雪を活用した新エネルギー分野など、飯山の気候を強みに変える可能性がある。

元気な年寄りの移住がブームになっている（家庭菜園や山歩きをしたい年寄りが増えている）。

旧4校の使い次第では、子育て層、移住層が飯山市面白そう！と感じるチャンスになるかも

- ・インバウンド需要の増加（特に野沢温泉や周辺スキーリゾートとの連携）
- ・ワーケーションや長期滞在ニーズの拡大
- ・道の駅やMIZBEステーションの整備による交流拠点の強化
- ・関係人口の創出や移住者の増加
- ・外国人や移住者など、多様な人材との関わりによる地域の変化や新たな価値創出
- ・地域の関係性の強さを活かした担い手育成の可能性
- ・北陸新幹線の関西方面までの延伸
- ・信州やまなみ国スポの開催。
- ・外国人客の増加によるグローバル化による世界への知名度アップ
- ・野沢温泉が飽和状態であり、飯山市内への投資資金流入

- ・新幹線駅や高速道ICがあり、遠方からもアクセスが容易。
- ・遊休農地が多く、物価高騰や食料難の際、活用が可能。
- ・都市部よりも地価が安い。
- ・インバウンド客の増加傾向

- ・リモート、2拠点生活者が今後増えるのであれば、首都圏間の利便性をアピールできる

野沢温泉や信濃町の物件の価格が高騰していて、あふれた人が飯山で物件探しをしている（別荘代わりに使われるなどの不利な点もあるので、脅威にもなりえるかも？）  
不登校、発達障害などを抱えた子供を持つ家族にとって、いい育児環境であり、そういった人が移住を検討するかもしれない

- ・なちゅらで行うイベントにもっと市民や行政が価値を置いて変わればそれはチャンスとなる。

### 脅威:T 飯山市にとって不利になる、リスク

- ・市民意識。飯山が大好き、飯山を誇りに思える飯山市民が増えてほしい。
- ・洪水や積雪量の変化（少ないと困ることが多い）、水不足、夏の気温上昇による作物不良
- ・リニア？
- ・今、地域を支えている70代、80代の人々の減少

- ・雇用が少ない。
- ・若者が少ないので継承が困難。（仕事や文化）
- ・高校の選択肢も少ない
- ・専門学校や大学へ進級する際には飯山から出ざるおえない。
- ・移住者を増やす為にはまず、住民が自信を持って飯山市を良い街だと言えなければいけない。（子育てしやすいなど）
- ・現状の変化を望まない人が多い。
- ・高齢化と人口減少。
- ・今、オーストラリアでは飯山が超人気らしいがブームが終わる時が怖い。
- ・外国人の移住者がいるが地区の組織に関わらない。災害時にどうするのか。
- ・コロナ禍や若者流出による、コミュニティの弱体化
- ・集落の存続の危機

ファミリーと会社フレンドリーな提案を出さないと、人口が減少し続けてしまう。

- ・就職先がない

- ・過剰インバウンドによる害人（外人）被害
- ・インバウンドへの依存
- ・元気でやる気のある若者ほど市外へ
- ・旧4校全てが民間企業社屋や介護施設などになったら「結局若者、子育て世代市民には何も関係なかったね」となってしまう事

→何も変わらないんだというがっかり感を生むリスク

- ・人口減少や高齢化の進行による地域機能の低下
- ・担い手不足による事業継続の困難
- ・インバウンドや観光需要の変動、他地域との競争激化
- ・地域内における変化への抵抗感が強まることによる停滞
- ・地域の魅力が十分に外に伝わらない、または内側で活かされないことによる機会損失

- ・洪水
- ・新潟県の原因が大損壊した際、たちまち住めなくなる立地
- ・温暖化に伴う降雪量の減少
- ・若者の地域外流出
- ・温暖化で年々、降雪期間が短くなっているため、冬季観光シーズンが短くなる。また予測が難しい若者の流出と共に、スキー場宿泊施設の経営者・農家の高齢化による、働き手の減少

- ・市民の諦めの意識が最も脅威
- ・市政及び議会の内向的な議論や発送

- ・温暖化 暑すぎるとアウトドアアクティビティに影響。降雪量の減少。

# 問い① 旧4小学校の利活用について想定する内容と私が考える旧4小学校エリアの未来像（ビジョンの案、思いの部分）

エリアとして思いや考え	場所として考え
<p>・地域市民がまちづくりに参画し、共に飯山市を盛り上げていくきっかけになっていくとよいと感じました。日本中・世界中に発信できる飯山の良さは、まだまだたくさんあると思います。地域の人々が、飯山の魅力を発信し、観光客が訪れる場所になってほしいです。と同時に、地域の人たちが観光客と触れ合うことで、改めて飯山のよさを感じ、更に郷土愛を深めてもらえるような交流がうまれる場所になってほしいです。観光客は「ふるさとのお父さん、ふるさとのお母さん」を体感しに、飯山へいらしてもらいたいです。</p> <p>・今の子供達はもちろん、これから生まれてくる子供たちにとっても豊かな資源となるように。あそこはおじいちゃんおばあちゃんが通っていた小学校だったんだよと話せるような。始まりは地味であっても一着実に長く安定して使える場所となるようにと祈るばかりです。</p> <p>旧4小学校は、同じ使い方を当てはめるのではなく、各立地や既存利用、周辺環境に応じて役割分担を明確にした上で、飯山市全体の課題解決につながる拠点群として活用すべきと考える。市として必要な避難所・備蓄・書庫機能は一定程度確保しつつ、残りは民間や外部人材も参入しやすい複合利用とし、子育て、教育、仕事、スポーツ、文化の受け皿を増やすべきである。4校を個別に見るのではなく、「日常利用の拠点」「スポーツ・合宿の拠点」「事業創出の拠点」「文化・交流の拠点」として配置することで、人口減少下でも選ばれる地域づくりにつながる。市がすべてを運営するのではなく、区画貸しや複数主体による運営を前提にした方が現実的である。市として避難所、備蓄倉庫、書庫等の活用希望があり、学校ごとに立地や制約も異なるため、役割分担型の方針が妥当である。</p> <p>飯山市では、人口減少や担い手不足、地域のつながりの変化など、いろいろな課題があると感じています。そうした中で、単に外から人を呼ぶだけではなく、地域の中で人と人の関係が深まり、その中で少しずつ人や地域が変わっていくことが大切だと思います。旧4小学校についても、ただ使う場所というよりは、人が関わることで何かが生まれるような場になっていくといいのではないかと考えています。それぞれの学校を別々に考えるのではなく、役割を分けながら、全体としてつながっていくことで、地域全体が少しずつ動いていくような形が理想だと思います。また、道の駅やMIZBEステーションなどともつながりながら、「点」ではなく「面」で地域を見ていくことが大切だと感じています。旧4小学校が、地域の課題に向き合いながら、新しい動きやつながりが生まれるきっかけの場になるといいと思います。</p> <p>・人口減少をやむを得ないものと捉えて今回の利活用を決めてしまうと、人口減少ゆえに30年もすればその利活用が不可能になる可能性が高い。そのため、困難もあろうが、人口維持・増加をめざした利活用を考えるべきである。</p> <p>・人間は本来、狩猟・採取・農耕で生きようとしてきた動物であり、遺伝子・本能は数百年で変わるものではない。近年の都市文化の進行・拡大に対して、それになじまない人たちも多数存在する。都市文化ゆえに、人間が本来備えている能力が育たず、“不器用”“創意工夫が不得手”“バイタリティ不足”etc.の人が増加している。幸い、飯山は自然が豊かである。自然の中に“入り込んで”育つと、かつての日本人のように本来の能力が育つと考えられる。そのコンセプトによる幼小一貫校の開設を提案したい。</p> <p>・インバウンドは今後も拡大する。それも考慮した未来像が必要。</p> <p>・旧4小学校すべてにおいて事業化を検討するのは非常に難しい課題と捉えている。何校かは民間への払い下げによる事業化も模索すべきではないかとも考えます。また、PFI事業・・・民間のノウハウを最大限に生かし、より効率的で効果的な公共サービスの提供を行うことも検討の一つと考えます。利活用において大事な要素は、施設を活用した各案件がビジネスとして成り立つのか（事業性が担保されるのか）が一番大事なのではないかと考えます。（事業者はボランティアではないので）それには、事業に対するインセンティブが必要であると考えます。</p> <p>地域の福祉、特に人口減少や高齢化、過疎化に対応するための必要な機能を盛り込んだ拠点とするのが相応しい。</p>	<p>・地域の人も外から来た人も、どちらも利用できるような場所になるといいのではないかなと思います。簡単にいえば道の駅のような雰囲気を持つ場所。私は飯綱町が行っている『いづなコネクト』の活用の仕方や雰囲気がとてもいいと思いました。</p> <p>・飯山市をどのような市にしていきたいのか、何を中心としていきたいのか市民の総意が大事とは思いますが、まずは、思い出の詰まった4校が、負の遺産ではなく、語り継がれる建物になるような使い方ができるように願っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが集う場所</li> <li>・市民が集う場所</li> <li>・観光客が集う場所</li> <li>・移住希望者が集まる場</li> <li>・社会人向けの学習施設（カルチャースクール）</li> <li>・市民農園</li> <li>・スポーツ選手養成所</li> <li>・地域住民の交流の場（活性化センター利用含む）</li> <li>・高齢者の集う場</li> <li>・避難所としての役割</li> <li>・地域福祉の拠点</li> <li>・新しい事へチャレンジできる場（チャレンジショップなど）</li> <li>・フリースクール</li> <li>・農産物の加工所</li> <li>・宿泊施設</li> <li>・ジビエ駆除、処理施設として活用</li> <li>・グリーンシーズンに観光地として集客できる様な場所</li> </ul> <p>飯山市の人口が増え、人の流れができる取り組み 幅広い交流の場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉学のために一度飯山を離れた若者がUターンしても働ける場</li> <li>・リモートワーク、2拠点生活者に飯山を選んでもらう住環境作り</li> <li>・Iターン希望者が働ける場</li> <li>・サービス付き高齢者向け住宅</li> <li>・介護施設（デイサービス）</li> <li>・自宅、職場とは異なる第三の居心地の良い場所</li> <li>・地域幸福度を上げる切っ掛けになるような場</li> <li>・北信地域、妙高、上越、津南、十日町など近隣自治体の人材とも交流がとれる場</li> <li>・子育て世代が「ここはポイント高いわ」となる子育て関連施設</li> <li>・天候や季節に関係なく子ども達が集える場</li> <li>・北側（特に鍋倉周辺）からも行きやすい中間地点にある公共施設</li> <li>・不登校児童、既存の学校がしっくりこない児童の居場所</li> <li>・大人が学べる場（生涯学習）</li> <li>・初期投資が難しい人でも6次化商品の開発が出来る場</li> <li>・様々な宿泊に対応できる施設</li> </ul> <p>地域住民が集まり、利用できる場所（子供の遊び場、親のリラックス・仕事できる場所、身体・精神的健康促進のための場・スポーツ施設、高齢者のデイケアなど）</p> <p>移住検討者が利用でき、飯山への移住定住につながる場所（お試し住宅、移住定住相談窓口、先輩移住者のお店やオフィス、地域おこし協力隊のオフィスなど）</p> <p>地域住民の意識を高めるための場所（情報交換や宣伝ができる場、子供たちの木育や地域産業の学びの場）</p> <p>観光のための場所（飲食店、商店、宿泊施設、温泉など）</p> <p>前提条件として事業性（事業の継続性）を問わないのであれば、地域課題の解決に繋がる施設運営を軸に検討することが望まれる。</p> <p>宿泊施設、インバウンド向け宿泊施設</p> <p>シェアハウス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの遊び場、地域住民の健康増進の場、地域の伝統文化や産業保存の場、独居高齢者の住まい</li> </ul>

## 問い② 旧泉台小学校 問①を進めるために必要だと考える業種、業態について

校舎 学び・遊び場 関係	校舎 宿泊、
<p>こどもと大人の遊び場（市、民間、公共的団体、どれでも）                      アスレチックフィールドや室内遊具、本を読んだり、こどもの仕事体験など大人がこどもを見守りながらゆっくりできる場所                      ※場所は泉台でなくても、中高生くらいの年齢であれば自力で訪れることができる小学校がよいと思います。                      子どもの遊び場（市）                      立地も飯山の街中から比較的近い場所で、長峰公園も近く、子どもの遊び場としても最適だと思います。                      例、妙高市わくわくランドあらい（青少年学習施設）、十日町市めぐらんど（児童センター）、中野市HUBLIC、利用料も無料の施設。                      中野市のHUBLICは、安価で子供を預けられる施設も併設されている。（中野市民のみ利用可能）                      わくわくらんどあらいのスタッフさんは（土日だけ？）シルバー人材センターで就労している様なご年配者が多く働いていらっしゃいました。ご年配者の「雇用」をうむという意味でも良いと思います。                      児童館同様、無料で利用できる施設が望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コワーキングスペース運営事業者</li> <li>・起業支援・中間支援団体</li> <li>・地域商社・農産物流通事業者</li> <li>・子育て支援・交流団体</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カルチャースクール</li> </ul> <p>1階ランチルーム・給食調理場等を利用して、                      お料理やスイーツ等の教室（民間、市）                      2階パソコン教室はそのままパソコン教室。                      3階図工室は日曜大工・DIYを学べる教室。                      その他趣味のサークル活動などに貸出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域地場産業と福祉事業（障害、高齢、児童）とのコラボ（民間）</li> <li>・地域集落の機能の合理化、集約化を目的とした施設（市）</li> <li>・子どもの室内遊び場（キッズスペース）（市）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリースクール 全天候型の子どもの遊び場、居場所</li> <li>・アーティストのアトリエ、工房</li> <li>・フィットネススタジオのレンタルスペース</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1階を特産物の製作及び販売の場とする（民間団体）</li> <li>・2階を子ども、年配者等が集う場所、健康増進施設として利用（市、公共的団体）</li> <li>・3階を宿泊施設とする（民間）</li> </ul>	<p>・長峰スポーツ公園が近いので中高大学の部活動・サークル等の合宿に利用できる宿泊施設。（民間・市役所等、共同経営）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所、保護者向けコワーキング、フリースクール等を複合化した日常利用型の拠点。必要に応じて区画を分け、別事業者が同一施設内で運営する形も考えられる。（民間、NPO、公共的団体、市）</li> </ul> <p>旧4小学校の中で市街地に最も近く、4校の中で最もコンパクトで、日常的に通う子育て・教育系機能と相性がよい。近隣に長峰スポーツ広場もある。公募意見でも、子どもの居場所、フリースクール、コワーキング、テレワーク等の需要が既に出ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス型介護住宅とそれに付帯する各種業態（スポーツジム、カフェ（食堂）、多目的ホール）</li> </ul> <p>市のほうで必要な場所は委託企業と協議                      すべての学校を同時期にするのではなくまず1校モデルケースで行う。成功状況を見て問題点があれば解消してほかの学校も随時進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校図書室に残された廃棄になる本を利用したブックカフェ（市・民）</li> <li>・フリースクール（民・市）</li> <li>・大人の学び場（民・市）</li> <li>・ギャラリー（民）</li> <li>・給食室とランチルームを利用したレンタルキッチン、6次化商品の開発（市）</li> <li>・図工室などをクラフト、ミシンスペースにし工房レンタル（市・民）</li> <li>・空き家や廃校からでた不用品をリサイクル販売する（市）</li> <li>・校庭を利用したイベント開催（市・民）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の住まい</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学駅伝部の合宿施設、学校を宿泊施設に合宿して、近隣の地域（道路）で練習する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験学習児童の宿泊施設                      農業（米作り）を体験する児童が宿泊できる施設とする。米作りの指導は（農）やなぎはらが行う。これにより雇用も生まれ、都会の子どもの「第2のふるさと」感が醸成される。学校内に加工施設を設ける。</li> </ul>
<h3>給食室、ランチルーム</h3> <p>■コミュニティ複合施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランチルームへ柳原地区活性化センターを移転、体育館・調理室管理、避難所としての役割含む（市）</li> <li>・1階へ地域福祉の拠点設置（市・社協）</li> </ul> <p>例）保健福祉サービスセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1階へ地域住民の交流の場、高齢者の集いの場（市、民間）</li> <li>・調理室など他教室へのチャレンジスペース、チャレンジショップなど（民間）</li> <li>・宿泊者等の食事の場とする。（民間）</li> </ul>	<h3>体育館・グラウンド</h3> <p>保存。                      飯山市の倉庫、書庫、備蓄物としての機能。                      一部、レンタル物置ルームとして貸し出すなど</p> <p>コンサート会場と宿泊施設、体育館、グラウンドでコンサートを開き、校舎で観客が宿泊する。</p> <p>校庭の一部あるいは空きスペースを活用してキャンプ場として利用する（民間）</p>

## 問い② 旧常盤小学校 問①を進めるために必要だと考える業種、業態について

校舎 学び関係	校舎 宿泊、
<p>・子どもが集う場所 ・観光客が集う場所 ・市民が集う場所</p> <p>例、みゆきの温泉の外にある健康器具は、韓国では街中の色々な場所に置かれています。（公園など）誰でも気がついた時、散歩の途中などに体をストレッチ、する事ができます。（無料）あの様な器具を自由に使えたり、健康運動ができる施設があるといいと思います。</p> <p>■子育て支援等複合施設 ■社会教育施設、多世代交流館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の健康増進のためのジム等（民間）</li> <li>・子どもの遊び場・体験型・木のおもちゃ館など（市、民間）</li> <li>・フリースクール（市、民間）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光・アウトドア事業者</li> <li>・イベント企画運営事業者</li> <li>・飲食・物販事業者</li> <li>・物流・地域産品流通事業者</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域地場産業と福祉事業（障害、高齢、児童）とのコラボ（民間）</li> <li>・地域集落の機能の合理化、集約化を目的とした施設（市）</li> <li>・子どもの室内遊び場（キッズスペース）（市）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した地区の公民館の移転先（市）</li> </ul>	<p>・花の駅千曲川・MIZBEステーションとの連携利用。カヌー等千曲川を利用したアクティビティ・サイクリング等の拠点とする。日帰りだけでなく、宿泊して楽しんでもらう人への宿泊施設。大浴場、サウナ等も整備。（花の駅千曲川運営者）</p> <p>・宿泊（民間）、高齢者の方がゆっくり過ごす施設（民間）、学校遊び（市）、コミュニティカレッジ（公共的団体）</p> <p>学校を学校として使う場所。たとえば自分の小学校時代を思い出せるような教室、掲示物、展示、給食など。コミュニティカレッジも生涯学習として幅広い年齢の方が交流できる学び場として、学校そのままの雰囲気を活用する。</p> <p>・サービス型介護住宅とそれに付帯する各種業態（スポーツジム、カフェ（食堂）、多目的ホール）</p> <p>市のほうで必要な場所は委託企業と協議 すべての学校を同時期にするのではなくまず1校モデルケースで行う。成功状況を見て問題点があれば解消してほかの学校も随時進める。</p> <p>合宿・修学旅行専門宿泊施設（民・市） 校舎、体育館、長峰、MIZUBEステーションなど近隣施設も利用できる。 近隣にスーパーやドラッグストア、コンビニなどもあるので利用者も助かるはず。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の住まい</li> <li>・飯山市への単身移住希望者の期間限定賃貸住居（市）</li> <li>・移住前の体験滞在のための宿泊先（市）</li> <li>・戸建て住宅に1人で暮らすのが不安な高齢市民のためのワンルーム賃貸住宅（市、民間）</li> <li>・地域おこし協力隊の方々の住宅</li> <li>・市役所が進めている特定地域づくり事業協同組合の事務局とワーカーの期間限定住宅</li> </ul>
給食室、ランチルーム	体育館・グラウンド
<p>・市民農園</p> <p>周辺の遊休農地を利用して（借上）、農業体験をしたり、本格的に農業を営みたい人が農業の知識を学べる場所として活用。 近隣の農家さんをお願いして、農業技術や知識を学ぶ場所として利用する。 また、収穫した農作物の販売や、収穫した野菜等を使った料理を振る舞う等のイベントを開催し、市民とのふれあいのスペースとして利用。（民間・市）</p> <p>カルチャースクール（民間）</p> <p>災害施設、倉庫（計画があるMIZBEステーションの補完的役割を果たす）</p>	<p>人が寄る。 購買、体験等）場所としての機能。 道の駅、みずバスステーションなどの立地から直売所販売のための加工品製造場所。 郷土料理の体験場所など 千曲川を利用したアクティビティのための倉庫や遊び場 カヌーなどの置き場など 小学校を中心とした美術展など（道の駅に車を止めて散策しながら楽しめるような</p> <p>小規模事業者向けオフィス、コワーキング、インキュベーション機能、レンタルスペース等を備えた事業創出拠点。隣接教員住宅も含めて、事務所、短期滞在、サポート用途など柔軟に活用する。（民間、公共的団体、市）</p> <p>道の駅花の駅千曲川や今後整備予定のMIZBEステーションとの連携が見込め、外部との接点を持つ事業拠点に向く。一方で洪水ハザードエリア内のため、防災倉庫用途には不向きである。グラウンドは大きく、現在も少年野球等で利用があるため、既存スポーツ利用は維持しながら校舎側を事業系に使うのがよい。</p>

## 問い② 旧戸狩小学校 問①を進めるために必要だと考える業種、業態について

校舎 学び関係	校舎 宿泊、
<p>・スポーツトレーニング施設（民間か市）、クラフト工房（個人）</p> <p>スキーをしに来た人たちが天気の悪い日などに、トレーニングやヨガなど身体を動かしたり、飯山にある手仕事を体験できるような場所。 ジャンプ台もあるので、本格的に鍛えたい、スポーツで強くなりたい人にむけての設備とプログラムがあるとよいのでは。</p> <p>■合宿等に対応できる宿泊施設 ■旧泉台小の地域福祉の拠点（案）は、旧戸狩小でも可</p> <p>1F: ・コワーキングスペース（民）、 ・トレーニング施設（民・市） ・地域の子供達達の遊び場トランポリン、ボルダリング（市）</p> <p>2F: ・シーズン雇用、アスリート留学、母子留学、移住お試し住宅、長期宿泊施設として使えるようなシェアアパートメント（民・市）</p> <p>体育館・校庭 ・地域の子供達に開放（市）</p> <p>・スポーツ・合宿誘致事業者 ・観光・アウトドア事業者 ・外国人対応事業者</p> <p>・地域地場産業と福祉事業（障害、高齢、児童）とのコラボ（民間） ・地域集落の機能の合理化、集約化を目的とした施設（市） ・子どもの室内遊び場（キッズスペース）（市）</p> <p>・老朽化した地区の公民館の移転先（市）</p>	<p>・長峰スポーツ公園が近いので中高大学の部活動・サークル等の合宿に利用できる宿泊施設。（民間・市役所等、共同経営）</p> <p>観光。 グリーンシーズン、ウィンターシーズンともに） 戸狩スキー場のオーナーに小学校ごとの利用を提案してみる。 （企画はプロのお任せして、何年間は固定資産税程度の額で貸し、内外への広報、利用などお任せしてみる。何年という期限付き条件） これから、戸狩民宿が減っていく中で、合宿、インバウンドなどに利用してもらえないか。 超富裕層ではなく、学生や、適度な層、日本に住む外国人などに使ってもらえる可能性があるようにおもう。</p> <p>・サービス型介護住宅とそれに付帯する各種業態（スポーツジム、カフェ（食堂）、多目的ホール） 市のほうで必要な場所は委託企業と協議 すべての学校を同時期にするのではなくまず1校モデルケースで行う。成功状況を見て問題点があれば解消してほかの学校も随時進める。</p> <p>・最北なので、ここにさらに北部の地域のものも併せて、一部行政の運営する部門があってもいい ・高齢者の住まい ・宿泊事業者</p> <p>・飯山市への単身移住希望者の期間限定賃貸住居（市） ・移住前の体験滞在のための宿泊先（市）</p> <p>・戸建て住宅に1人で暮らすのが不安な高齢市民のためのワンルーム賃貸住宅（市、民間） ・地域おこし協力隊の方々の住宅 ・市役所が進めている特定地域づくり事業協同組合の事務局とワーカーの期間限定住宅</p>
給食室、ランチルーム	体育館・グラウンド
<p>・子どもが集う場所 ・観光客が集う場所 ・市民が集う場所</p> <p>例、みゆきの温泉の外にある健康器具は、韓国では街中の色々な場所に置かれています。（公園など）誰でも気がついた時、散歩の途中などに体をストレッチ、する事ができます。（無料）あの様な器具を自由に使えたり、健康運動ができる施設があるといいと思います。</p> <p>市民も使える公共性のあるスポーツ施設、合宿・スポーツリトリート対応施設、地域の指導者が安価に教室を開ける場などを組み合わせたスポーツ拠点。必要に応じて宿泊や周辺観光との連携も検討する。（民間、公共的団体、市） 戸狩温泉スキー場に最も近く、なべくら高原森の家にも近い。既にランニングクラブ利用や夏季の合宿貸出実績があり、4校の中で最もスポーツ・観光連携に筋が通る。旧城南中学校でも宿泊とスポーツ施設の組み合わせが想定されており、方向性としても整合する。ただし太田地区活性化センター移転の可能性があるので、一部共用や段階的活用を前提にした方がよい</p>	<p>・スポーツ選手養成所（合宿等） 戸狩スキー場に近い環境を活かして、県内外の子供たちを将来のオリンピック選手に育てるための施設として活用。（簡易宿泊施設） 週末や連休に個人や団体等で利用出来る施設。 スキー場と連携して、スノーボードの練習場を作り、冬だけでなく夏場でも練習が出来る環境を整備する。（例：小布施QUEST）（民間）</p> <p>・体育館：フィットネス（スポーツジム） （民間）</p>

## 問い② 旧東小学校 問①を進めるために必要だと考える業種、業態について

校舎 学び関係	校舎 宿泊
<p>・オフィス2階（民間）、Wifiカフェ1階（民間）</p> <p>眺めがよいのを活かして、色々な人が出入りする場所になるといい。教室ごとに違う企業が入ったり、家族連れでご飯を食べたり、ノマドワーカーたちが気長に作業できる場所として活用できるようにしたい。</p> <p>・飲食店（民間） 立地も飯山の街中から比較的近い場所で、観光のお客さんも集まる場所。 例、上越の高田公園内にあるスターバックスの様な感じで、菜の花で人が集う場所にカフェがあったらいいと思います。ごく近隣にはカフェなどの競合もないので良いと思います。冬季は野沢からのインバウンド客の利用も見込める施設になると良い。 スターバックス上越店も（上記スタバとはまた別の）隣に子どもの遊べる公園が隣接されている。</p> <p>・子どもの遊び場（民間） 例、長野市ながのびは有料施設だが、長野動物園も隣接しており、子供に人気の施設である。無料でなくても、市民は割引などがあれば市民も利用しやすいし、市外や県外の方も利用するのではないか。</p> <p>・ワーケーション・滞在施設運営事業者 ・教育・体験プログラム提供団体 ・福祉・地域コミュニティ団体 ・国際交流・多文化共生団体</p>	<p>・非常時に防災拠点としたい、景観がよく、野沢温泉へのアクセスがよいため、宿泊施設がよいと感じます。（民間：*野沢温泉への観光客を集客できれば、民間でも採算があうのではないかとの考えからです。）</p> <p>■菜の花公園の景観を生かした宿泊施設・グランピングなど（民間） ■飲食店（民間）</p> <p>アトリエ、展示室、アーティスト・イン・レジデンス、アトリエショップ、マーケットやイベントができるホール機能を備えた文化・芸術拠点。（民間、公共的団体、市） 周辺景観がよく、菜の花公園や湯の入荘にも近いため、静かな滞在型・文化交流型の拠点に向く。通常利用が少なく、新しい用途を入れやすい。一方で瑞穂地区では公共施設が少なく、校舎部分も避難所指定されているため、災害時に避難所として使える前提を残す必要がある。恒常的な専有用途よりも、平時は文化利用、災害時は転用可能な設計が望ましい。</p> <p>・サービス型介護住宅とそれに付帯する各種業態（スポーツジム、カフェ（食堂）、多目的ホール） 市のほうで必要な場所は委託企業と協議 すべての学校を同時期にするのではなくまず1校モデルケースで行う。成功状況を見て問題点があれば解消してほかの学校も随時進める。</p> <p>・観光業 ・ロケーションがいいので、移住促進のためのお試し住宅などもここがいいと思う（印象がよくなる）</p>
給食室、ランチルーム	体育館・グラウンド
<p>・市民農園 周辺の遊休農地を利用して（借上）、農業体験をしたり、本格的に農業を営みたい人が農業の知識を学べる場所として活用。 近隣の農家さんをお願いして、農業技術や知識を学ぶ場所として利用する。 また、収穫した農作物の販売や、収穫した野菜等を使った料理を振る舞う等のイベントを開催し、市民とのふれあいのスペースとして利用。（民間・市）</p> <p>・体育館：フィットネス（スポーツジム）（民間） ・シカを駆除し、ペット用肉として活用する施設</p>	<p>人を育む。 →現民芸館の機能を移し在中者がいるようにする。 フリースクール、子供たちの遊び場、菜の花の丘のカフェ、デイサービス、小菅神社など歴史的建造物の資料学び場、撮影スタジオ等。 避難所としても使い続けることですぐに対応可能</p> <p>十日町市の「雪原学舎」のようなホテル・グランピング・キャンプ 「特定のキャンパス（校舎）を持たない」非常にユニークな形態をとるアメリカのミネルバ大学の日本滞在拠点の地方拠点として立候補する</p> <p>・仮称「ふるさと自然学園」の創設 ・幼小一貫、入園資格はおもに県外者 ・林業体験、川や林間での遊び体験、雪遊びやスキー体験、農耕体験、和紙作り体験、高齢者との交流、フリースクールの対応など、さまざまな要素を加味する。 ・他県、特に大都市部にPR ・農林、飯山高校、文化学園などと連携 （cf. 知人・友人に自然学園高創設の西條隆繁氏（今月逝去）、山梨学院大附属小創設の田中智志—一人脈やノウハウを得やすいか。）</p> <p>ロケーションが抜群に良い立地を生かして、春の菜の花、夏のひまわり、冬の雪景色をスノーシューで楽しんでもらう。そのための飲食スペースとしての活用（民間） グラウンドも駐車場、キッチンカーの出店場として利用（民間）</p>

## 問い⑤ 日頃から飯山市のまちづくり、活性化を推進するためのコミュニティ運営のアイデアなどについて

世代間交流ができる場があるといいなと思っています。何も目的がないと集まりにくいとは思いますが、たとえば「〇〇についてざっくばらんに話してみよう！」というような一つのテーマに対して意見を出し合って、結論は出さなくていいような集まり方ができるといいなと。あとは、誰かがやりたいことをプレゼンして、それに協力したい人を募れるような場。私自身は、「みんなでやるからこそ手仕事は面白い」と思い、グループを立ち上げました。ほとんどが単純作業の繰り返しなので、作業しながらおしゃべりするのが実は実際の仕事より大事だなと思っています。

市政や国政、国際情勢、歴史や文化を学べる集まりが欲しいし、色々な地域の人とオンラインで勉強会や意見交換会などをしてみたい。「自分の人生を面白くする」ための実践的な学びの場、誰に強制されるのでもなく、「自分が知りたいから学ぶ」そういう人たちが集まる場が欲しい。学び考えることをやめない人、学びを楽しむ人が増えたらまちづくりはきっと大きく前進する。

地域のことを考えるときに、特定の人や組織が動かすのではなく、いろんな人がそれぞれの形で関わることが大切だと思います。

そのためには、「ちょっと関わってみようかな」と思えるきっかけをある程度意図的につくる必要があると、地域の活動や仕事、集まりの中で自然に関わる機会があると良いと感じています。

最初は受け身でも、関わる中で地域とのつながりが生まれ、「自分ごと」として関わられるようになり、担い手につながっていくのではないかと思います。

旧4小学校についても、農業や地域活動、交流の場などを通じて、自然に人が関わるきっかけを生み出す拠点として活用できると良いと考えます。

小学校の統廃合の必然に合わせて、集落の統合及び合理化も検討すべき時期にきています。

市内の風景、日常生活、移住生活等を積極的に発信するグループを作る。

インフルエンサーを育てる又は、ならためのノウハウを知る。

○内発的コミュニティは、あまり公の場に出ない気がするのですが、飯山で活動するコミュニティがあるのかどうか分かりませんが、公民館で開催されている様な講座（交流サークル）等での集まりの中で、気軽にまちづくりに対して語りあえるサークルなあどがあればいいと思います。発言者がやる（言い出しっぺが損をする）みたいなのところがあるので、あまり飯山のまちづくりに口に出さないけれど、色々な思いがあったり感じてる方は沢山いらっしゃると思います。

・飯山市の「ヒト・モノ・コト」資源に対して、なぜ大切なのか、なぜ必要なのかを住民が見直すことが必要と考えます。具体的な方策として、長野県各地で行われている「まちの縁側」の取り組みを試みるのもあり。

もっと高齢者の移住を促進すべき。若者移住者は各地で取り合っている。都会にはリッチな老人がたくさんいるからそこにターゲットを持っていくべき。年寄りが増えればその家族も遊びに来る。税金を払っている年寄りもたくさんいる。年寄りにやさしい町づくりが雇用を促進してひいては若者の飯山離れを防げるのでは？と思います。

・穏やかな人が多いためか、積極的に発言し活動する人材が少ない（市役所の職員も含め）。そのため、まず、そういう人材を発掘することが必要。

・移住者の集いを作ったら、そこで出た意見に対応してゆく。また、現在、野沢温泉から欧米人移住者が市内に溢れつつあるのだが、彼らはとにかく孤立して暮らしがちで、集いのような場が必要。日本語教師も必要。彼らの日本や飯山に対する意見は貴重。

こちらの人は他人の家に行きづらいところがあるようです（何度声をかけても来てくれない）。なので、誰に気兼ねなくみんなで集まれる場所があるといいと思います。そういうたわいないおしゃべりのための場所を作ることで、生まれるものもあると思います。飲食の提供があってもなくても（持ち込みを可能にするなど）、なるべく気を遣わなくて済む場所。